前橋市広報

発行所　前橋市役所
編集所　前橋市役所総務部秘書課報道係
印刷所　上毛新聞社出版部
前橋市曲輪町35番地

7月は固定資産税第2期

今月は固定資産税及び都市計画税第2期の納期です。お忘れなく納期内完納にご協力下さい。

（総務部税政課、収税課）

7月の農業気象

7月の概況

初めは梅雨型の天気で一時雨が強くなる期間がありますが、月なかばにはつゆがあけ、以後は晴の日が多くなりましょうう。気温は一時低くなることがありますが平均ではやや高く、降水量はやや多いでしょう。

（前橋地方気象台）

六月の定例市議会に事務分掌条例の改正等提出

六月の定例市議会は、二十九日招集されましたが、市長は事務分掌条例の一部改正などの議案四件と三件の報告を提案しました。（以下提出議案）

▽市議会議案第69号＝前橋市事務分掌条例の一部改正について（経済部を商工部、農政部に分け事務の充実をはかるもの）

▽同第70号＝前橋市工場設置奨励条例の一部改正について（従来の工場誘致審議委員会を工場設置奨励審議会と改め工場設置奨励金交付についての審議だけとし、工場誘致対策のためには別の機関を設けようとするもの）

▽同第71号＝契約締結について（衛生処理用真空吸上式屎尿運搬車を購入するもの）

▽同第72号＝昭和三十四年度前橋市才入才出追加更正予算（一般会計＝前回までの累計額十一億六千三百三万七千百五十一円、今回の追加更正予算額十一億八千八百六十八万四千九百九十六円で追加増二千三百六十四万七千八百四十四円その内訳は事務対策費、女子高校授業料など）

▽報告第5号＝契約締結について（❶農作業機械用自動車購入契約締結について。❷ヒューム管購入契約締結について）

▽報告第6号＝専決処分について報告（起債、昭和三十三年度公営住宅事業追加配分）（経済部庶務課）

道路は広く使おう

道路は私たちの税金の相当部分を使って建設され、維持管理されていきます。しかしその道路が、目的外の使われ方をしているために、本来の役目を完全に果たせないでいる例を、あちこちで目にします。

▽遊び場ではありません…こどもたちの遊び場が少いためもありましょうが、時におとなまでまじって、キャッチボール、鬼ごっこ、バトミントンなどをしている光景を目にします。交通のじゃまになるばかりか事故を起すもとです。

▽商品置場ではありません…道路というのは、いわゆる道路として交通の用に供される部分（官公庁員といいます）だけをいうのでなく、側溝など道路敷全体をいいます。そこで側溝や道路敷を商品や材料の置場にしたり、農作物の乾燥場に使ったり、看板を立てたりしてはいけません。交通のじゃまになるような目よけを出すこともいけません。もし工事等でどうしても道路の一部を使いたいときは、あらかじめ道路占用の許可を受けて下さい。許可なしに使っていると、制せられることがあります。

▽自動車置場ではありません…自動車が道路上に停車または駐車する場合は、その方法や場所について規制があります。停車というのは踏切りや交通信号などによる一時停止、客を乗降させたり荷物を積みおろしするための停止をいいます、また駐車というのは、客待ち、故障などのために、継続して停車することです。従って運行の終った車、いつ運行するか予定されていない車などは、停車や駐車ではありませんから、車庫や空地におくべきです。道路を車庫代用に考え、車を放置してはなりません。

▽自転車置場ではありません…商店などの前に、たくさんの自転車が乱雑におかれている光景がみられますが、必ず整理して、道路がひろく使えるようにしてください

（建設部土木課）

★北関東の華★
4日から前橋七夕まつり

夏の市街地にくりひろげられる、豪華けんらんの前橋七夕まつりも、4日開幕、8日までの間、県内外の客を迎えて全市商店の大廉売もあって年ごとに盛大になってゆく

【写真―33年度広報写真コンクール入賞作品】

かけよう橋を南米へ
前橋市海外協会発足

中南米の新しい天地で思うぞんぶん働こうと、戦後三十五家族、一二八人（33年十二月末現在）が当市から渡航入植していますが、その後の成績もよいので、当市は、昨年十一月、県下の海外移民モデル地区として指定を受けていますそこで一層移住の推進を図るため六月二十三日市内の各同体関係者や学識経験者が集り「前橋市海外協会」の設立をみました。

この会は、石井市長が会長となり県当局海外協会の指導援助を受けこれと協力して本市海外移住事業の推進を図ろうとするものです。

事務所を市の農政課におき次の事業を行うことになりました。

❶移住知識の普及宣伝についての印刷物の配布

❷海外移住に関する講演会及び映画会の開催

❸移住相談及び移住手続きの指導あっせん

❹移住者の財産整理に対する協力

❺群馬県海外協会の行う事業の協力

❻そのほか必要と認める事項

（経済部農政課）

天気予報サービス

七月十一日から電話の番へ

前橋電報電話局では、県下にさきがけて、七月十一日から天気予報サービスを開始することになりました。受話器をあげ99番をダイヤルしますと前橋地方の天気概況がやわらかい声で聞えてきます。この天気概況は、前橋気象台の協力によるもので毎日朝六時から夜十時までの天気変動の観測を天休日回程逐次発伝える仕組になっています。

料金は一回の市内慶数料（七円）ですが、公衆電話（ボックス）赤電話からは十円です。

6月の市政日誌

日	内容	場所
2日	参議院議員選挙投票日	
4日	総務委員協議会	市庁舎
4日―6日	関東市議会議長会議	伊田旅館
5日―6日	関東市長会議	役所
6日	経済常任委員協議会	市庁舎
8日	契約審査委員会	〃
	城東土地区画整理審議会	〃
	東部地域屋内拡張協議会	〃
	生産性向上に関する映画会	〃
	池端地区かんがい排水対策事業打合せ会	議場
9日	中央地区都市改造事業についての協議会	〃
	観光協会総会	〃
10日	群馬県市長会議	館林市
	世帯更正資金調査委員会	役所
11日	中小企業機械類貸付譲渡審査会	〃
12日	愛の鐘をならす運動常任委員会	〃
15日	利根水道委員協議会	〃
15日―17日	中央地区都市改造事業説明会	一毛町
16日	第1回議員研修会	榎町公民館
18日―19日	全国市長会議	東京都
19日	第2回議員研修会	東京都
22日	桃井地区土地区画整理打合せ会	市役所
	国民年金事務打合せ会	〃
	草手製品技術指導講習会	農業試験場
	第14回天皇杯全国軟式野球大会事務打合せ会	武道館
23日―26日	全国市議会議長会議	東京都
23日	前橋海外協会設立総会	市庁舎
24日	教科書選択打合せ会	〃
26日	小口蔵証衛育会	〃
	11市市長所得推計打合せ会	〃
	総務委員協議会	〃
29日	市議会定例会	議場

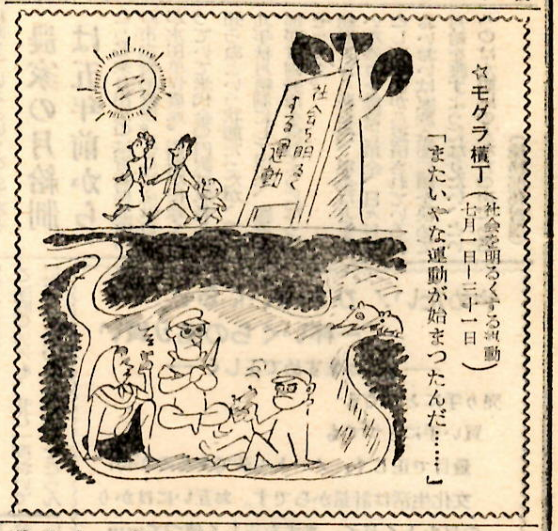
7月の前橋競輪

開設周9年記念競輪　前橋市営

三山王冠争奪戦　オールA級

7月　10.11.12　17.18.19

17日午前11時から自衛隊の音楽隊を先頭に参加全選手による豪華な入場式を行います



☆モグラ横丁（社会を明るくする運動　七月一日―二十一日）

「またいやな運動が始まったんだ……」

はずかしい花

ある人が外国人を案内して秩父の荒草山へ行ったときの話だそうです。

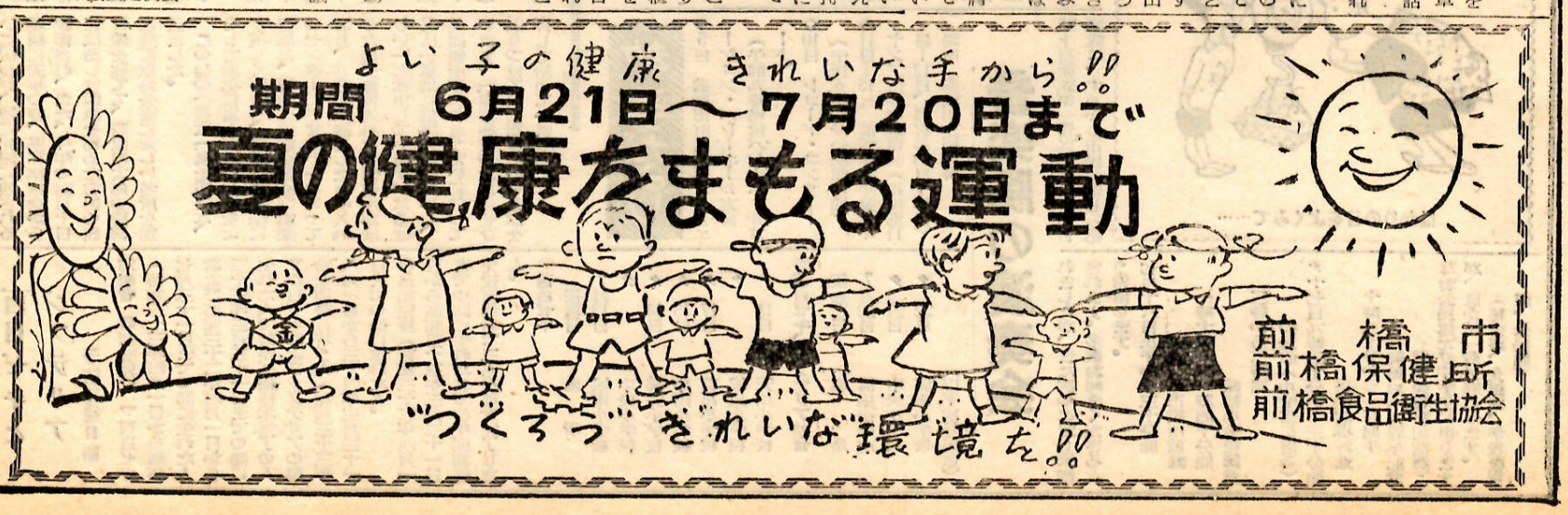
「あの花はなんですか」ときかれて、指さされた荒草山をみると、一面に白い花が咲いているようにみえるのは、何と返すだったのです。きかれた人は、どう答えていいか、顔が赤くなってこれほど困ったことはなかったといいます

夏のおとずれとともに近くの山も人でにぎわいますが、べんとうのたべながら、くたもの皮、あきびん、あきかんなどで、足のふみ場もないような観光地をみるとほんとうに情なくなります。

そこで、ことしからはぜひ、層入れの紙袋やビニールを持参して層という層は一つもちらかさないように、その中へ始末してほしいと思います。まとめた層は、備えつけの層箱にあげるか、自宅へ持ち帰るようにすれば、おたがいに気持よく行楽できるというものです。

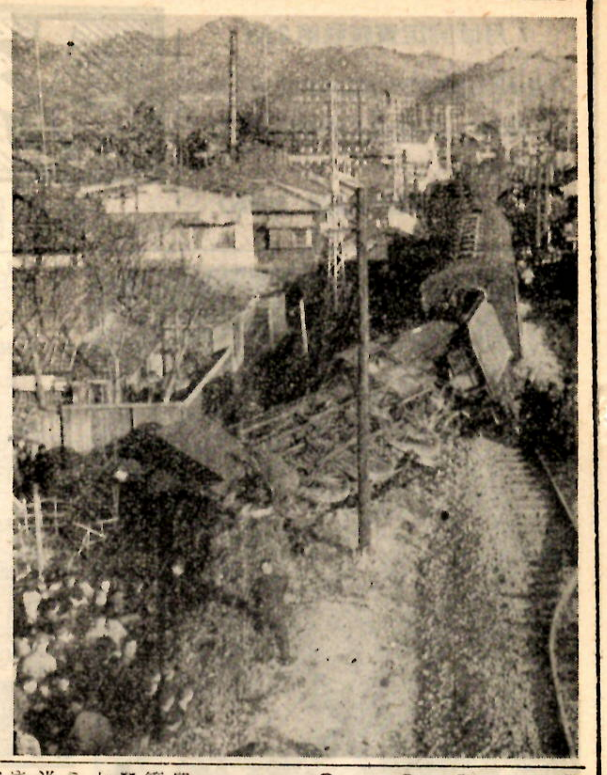
ところで、もう一つ困ったことは、やたらに山の草木を折ったり取る人がいることです。屋敷の植物など、一般の人は絶対に採集を禁止されているのに、監視人の目をぬすんで、ひどい人は注意されても平気で、貴重な植物を取るといいます。

はずかしい話ですね。



忙しいから遊んできなさい

それが原因をつくるもと



害妨車列の子供ふえる

三十三年中に起きた高崎鉄道管理局管内の列車妨害のうち、踏切り事故が一番多く一三三件で、続いて「線路に石を置いたもの」一〇六件となっています。踏切り事故は、列車の直前横断、踏切りを通る際、一たん停って右左を確認しなかったものが大部分ですが、二番目に多い線路の置石は、大部分が三才から十二才までの子供さんで、大人が忙しいばっかりに付添わない子供たちの遊びが列車の脱線などの大きな事故を起しています。

そこで国鉄では、輸送の安全と楽しい旅行ができますよう、次の六項目を掲げ、市民の皆さんにお願いしています。

❶線路に石や物を積くことはやめるよう指導してください。
❷線路や駅の構内に入るのはやめましょう。
❸汽車や電車に向って石を投げたり汽車の窓から物をすてるのはやめましょう。
❹踏切は一たん停って右左をみてから通りましょう。
❺列車へとび乗り、とび降りは危険ですからやめましょう。
❻線路の故障や列車妨害があったときは鉄道公安室、駅、又は警察へお知らせください。

小坂子町で農休日

今月から新しい町づくりへ

市内小坂子町の新生活運動推進協議会と公民館運営推進委員会では、こんど前橋市で初めての「農家定休日」を設け、七月からいよいよ実施することになりました。

近代社会においては労働者も、またどんな職業においても、その労働が、この定休日をもっているがひとり農家だけはこれから取りのそかれていたので、小坂子町公民館が中心となって新生活運動の第一歩を農家定休日の実行からと、町の人あげて数回となく討議を重ねた結果、このほど次の方法で実施することが決まりました。

1定休日は毎月、嫁の日、青年の日、主婦の日、成人の日と四つにわけて一日づつ休む
2定休日の予定表を配布し、休日の利用方法は公民館運営推進委員会と新生活運動推進協議会で前の月に決める。
3この定休日は毎年継続する。
4他のもの日は行事日とは別に完全実施する。

以上が実施の方法ですが、これによって次の点で効果があがるとみられている。

❶消費利用の工夫が高まり、産業の習慣（自雄はたらくだけで勉強や娯楽の時間がない）が打破できる。
❷農家経営や生活のあらゆる面で創意工夫できる。
❸時間や決定したことを一人一人が守り、お互が犠牲になったりむだのないよう理解し合う。
❹互譲の気持が生れ、家庭が明るくなり教養が高まり、なかよく民主的な町づくりができる。

（教育委員会社会教育課）

農業生産者の皆さんへ

農林省では、青果物の流通改善施策が一環として、六月一日からNHK第二放送で、平日は午後一時十五分から、土曜日は午後一時から東京中央卸売市場、神田分場等当日の市況を放送しています。

また、各新聞社にも提供しています。

（経済部農政課）

各地に拡まった

―農村サラリーマン―

農家の収入が秋にかたよるため「出来秋長者でもとはビイビイ」という無計画アンバランスな生活になりがちなのを是正するため、新潟県中之島農協が始めた農家の月給制は、各地に大きな反響をまきおこし、北海道、山形県各地に広がりつつある。

山形県の場合はどのようにして実現したか、さらに大分県での耶野金による簡易水道の実現とともに農家の生活改善として貯蓄増強中央委員会では次のように説明している。

山形県の農村サラリーマン米どころ庄内平野にある余目町の四つの農協では四年つづきの豊作にも農家経済はかえって苦しく、たとえば大和農協では預金が年々一千万円ずつ減る始末、そこでいろいろと原因を調べ、対策を協議した結果、昨年の十月に月給制を実施初めて、サラリーマンが各農家にくばられた。

この月給制は計画貯金をもとにしており、でき秋の米代金とその他の副収入を生産準備貯金、納税準備貯金、月払貯金、特別準備貯金の四つの通帳でそっくり農協に預けいれてから払出しは生産、納税準備金は振替送金で、月払貯金は毎月農協職員が各農家にとどける。

また、特別準備貯金は必要に応じて支払われる仕組みになっている。赤字農家には営農規模に応じた貸付金も認め、資金計画に基いて順次、返してゆくようにしている。

こうして月給制の計画貯蓄を始めた農家では家族の経済観念が高まり、養豚、養鶏など副業収入のみちを競って工夫するようになってきわめて好評、ことしになってから加入の申込みが殺到している成功の鍵としては、まず主婦たちの会合、あるいは青年たちばかりの相談と、グループ別に話しあいが進められ、最後には家族会員の賛成した家の申込みだけを受付けるという方法にある。さらに職員が戸別訪問し、家計を絶対他言しない約束でいっしょに資金計画を相談しているということである。

農家の月給制は五年前から

こう名乗り出たのは青森県五所川原市水野尾農協。ことは全組合員が水田単作農家。因習が根強く残っていて米代金の内訳は家長しか知らぬという状態だったが、一二十九年秋月給制にして以来、家族全部が計画経済を営むようになったそうです。

繰収入から肥料代、税金などをひいた残りを農協に預金、日々月給として農協から返資されているがおいおいは家族全部に額を決めて月給を渡すようになりたい、というのは水野尾の人たちの声である

（総務部秘書課）

あの町この町

敷島公園愛護会

市民のいこいの場所として最も愛され、親しまれているものといえば、まず敷島公園がおげられましょう。その広さと美しさにおいて前橋を代表する観光の名所であります。

梅雨のあい間のまばゆい日射しをうけ、みどり深い松の林と柔かい芝生のひろがる風致は清らかな池とともに自然の美しさを誇っています。

その市民のオアシスともいうべきこの公園も日曜日や休日ともなれば目に五十七年復のバスで、あるいは車で入園者がそっくつめかけ大そうの賑わいをみせます。

また近くのグランドや球場で競技や試合があれば、さらに人々でうずまります、ところが多くの人の中には公徳心のない人も少くありません。帰ったあと、花や樹木は折られ、紙くずが散乱し、美しさはどこえやら、まことにあわれなほど汚されてしまいます。

ところが、この公園の姿をよく見かける付近の人たちの間には、いつしか公園を美化・愛護してやろうという声が誰とはなく集ってきたのです。

この高まりはそのしだいに発展し、ついに敷島公園愛護会が結成され、二十九年四月十日には、この発会式をかねた植樹祭が、桜花満開の公園で催された、桜、桃、柳などの苗木がいく本となく手植られました。

この前には奉仕事業とはいえ会の人たちの努力は大へんであったと思います。

そしていらいこの会の中心に区長さん、婦人会、子供会と地区の人があげて協力し合い、会員も二百名に達しています。

さらにこの会の事業もたえまなく続き、毎月の第二日曜には、小学生やそのお母さんがたが紙くずの清掃、樹木の手入れなど、公園環境の浄化に当番制であたっています。とくに毎年春に植樹する苗木代は少い会費ですべて賄っています。

ある子供会の指導者は「子供たちがこの仕事をしながら、しだいに社会に奉仕する心がけや、公徳心がうえられ、自然を愛する思いやりを体得してくれます」と語っています。

もう仕事がはじめられてから五年もたちますが、人目のつかないところで、よい子供たちがこんな立派な行いをしているのです。

しかし会の仕事は市民にもしだいに伝わり、特に記録に残される業績に去年の春、県林業協会から表彰され、また、今年の四月十日には奇しき伝説を秘めたお墓の観音像を建てて、森鷗外太郎の詩碑と共に敷島公園に新しい名所を加えました。

この会の会長は「風光明媚な、そして変化に富んだこの公園をより美しく整備し、愛護して行楽に運動に、観光に前橋の健全な娯楽のセンターにさせたい」といっており、さらに「清掃したり手入れのために紙屑入れと共同便所がほしい」と希望しています。なるほど広い敷地に紙屑入れはないし、共同便所は汚れほうだいになっています。「環境整備のために早び取りつけていただきたい」と念を押して語っていました。

教科書の展示会

二中（一毛町）で十日まで

明年四月から使用する教科書を決定するための展示会が、七月一日から十日まで市立第二中学校で開かれます。この展示会には、国内のあらゆる教科書会社から見本の教科書が送られ、これを展覧して研究に資するものです。小、中、高と各学校ごとに室を異にして展示しますが、色とりどりの各種教科書。この中から各学校が子どもたちに最も適したものをえらび出し教育委員会の許可を得て使用を決定していきます。

ご家庭の方々も、ぜひ一度おいでになって会のようすなどをごらん願いたいと期待いたしております

（教育委員会）

国際児童画展

七月四日―六日貿易会館で

世界平和と国際親善に大きな役割を果してきた「国際親善児童画交換展」も前橋青年会議所の努力で第五回を迎えました。

私たちの前橋からも毎年のように日本青年会議所の手を経て世界各地の青年会議所へ配付され、児童画を通じて世界の子供が手をつなぎ、立派に国際親善の役を果していきます。

（総務部秘書課）

教委だより

◇5日　前橋市町内対抗レクリエーション・バレーボール大会（午前九時県営バレーボールコート）
◇10日　レコード・コンサート（午後6時30分公民館講堂）
◇11日―15日　前橋市青年教育キャンプ指導者講習会（市街地11日―12日、農村部13日―15日）場所　赤城山小沼湖畔

音楽隊の演奏会

陸上自衛隊第一管区（練馬）の音楽隊は、すっかり市民に親しみ結されます。多数お聞きくださるよう希望します。

七月十六日午前から三十分間　市役所前庭
一時十分から一時間十分間　総社小学校講堂
三時から二時間　公民館（中学生に限る）
〃十七日九時三十分から三十分間　市内演奏行進
十時三十分から一時間半　競輪場（九周年記念前橋競輪参加演奏）

なお公民館見学中学生に限りますが、ほかは一般公開とします。

（秘書課、企業課、学校教育課、公民館）

百日ゼキとジフテリア

予防接種日割

対象者　❶初回免疫　▽百日ゼキ（昭和三十三年四月一日から同年七月三十一日までの間に生れた人および昭和三十一年四月一日から三十三年三月三十一日までの間に生れた人で前年度接種未完了の人）▽百日ゼキおよびジフテリアの混合を同時に行う人（昭和三十三年八月一日から三十四年三月三十一日までの間に生れた人。

❷追加免疫（昭和三十二年四月一日から昭和三十三年三月三十一日までの間に生れた者で前年度初回免疫者当者で三回接種を完了した人。

◎百日ゼキ

接種日	場所
7月13日	城南小学校
〃	中央小学校
〃14日	桃井小学校
〃15日	中川小学校
〃17日	若宮小学校
〃	城東小学校
〃18日	天川小学校

◎百日ゼキ、ジフテリア混合

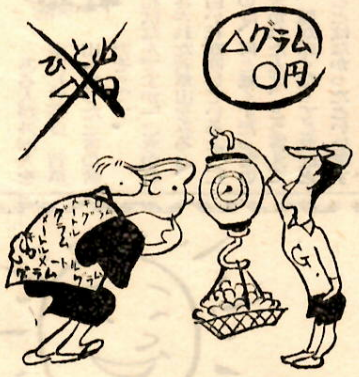
接種日	場所
7月20日	清里出張所
〃21日	中央小学校
〃22日	城南小学校

（以下次号掲載）

やめたい！ひと山いくら！一杯いくらの売り買い

――目方がますめで正しく――

売り手にとつても
買い手にとつても
量目で正しく，メートル法でやるのが得，
文化生活は計量からです。お互いにはかりの目をよく見て，ますを正しく使つて……
それが近代生活のエチケットです。



はかりの目をよくみて……